

【滋賀県長浜市】

校務DX計画

令和5年3月8日付・文部科学省発出の「GIGAスクール構想の下での校務DXについて」により、令和の日本型学校教育を支える基盤としての校務DXを実現するために必要な今後取り組むべき施策が示されたところである。

本市では、学校を取り巻くICT環境が急速に変化する中で、令和5年12月に「長浜市学校教育情報化推進計画」を策定し、校務DXによる学校現場の働き方改革をはじめとしたさらなる教育の情報化を進めていく方針である。

1. 現状

令和6年10月～11月に実施された文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」の自己点検結果（令和7年1月速報値）のうち、本市の多くの学校で実施される項目を以下に示す。これらの項目については、早急に全校で確実に実施できるように取り組んでいく。

(半分以上行っていると回答した学校の割合)	本市	全国
1. 児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	100%	76%
3. 学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。	86%	49%
5. 保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	91%	61%
8. 学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っていますか。	97%	77%
10. 児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。	57%	28%
11. 児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	80%	54%
12. 宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	54%	18%
13. 宿題（長期休暇中）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	57%	17%
15. 職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。	86%	76%
18. 職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。	86%	77%
23. 授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか。	63%	46%
24. 教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	86%	67%
28. 教職員は校務用の個人メールアドレスが付与され、それを業務で利用していますか。	91%	82%
33. 学級・学校経営に有効な教育データ等が、必要な職位に応じてアクセス権限が設定されるとともに、活用しやすいように整理され、閲覧できますか。	74%	84%

次の項目の実施率は、50%未満であるため、今後は、すでに実施している学校での活用状況を共有し、さらに多くの学校で実施できるように取り組んでいく。

(半分以上行っていると回答した学校の割合)	本市	全国
2. 業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。	17%	28%
4. 保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。	17%	14%
6. 保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。	20%	13%
7. 学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。	3%	5%

14. クラウドサービス等を活用し、授業中の小テスト等に CBT を取り入れていますか。	29%	27%
16. 職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。	37%	29%
17. 職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	14%	24%
19. 校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。	34%	24%
20. 教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。	49%	40%
21. 授業研究会や校内研修等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	9%	7%
22. 校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。	46%	46%
25. 教職員から学校へ提出する事務手続き資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。	9%	24%
26. 学校から教職員に紙で提出を求めている書類はありますか。	6%	5%
27. 長期休暇期間（夏休み等）の教職員の動静調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか。	31%	36%
29. 「FAX の利用が例外的に必要と考えられる業務」以外の日常の業務に FAX を使用していますか。（使用していないと回答した学校の割合）	29%	23%
30. 業務で押印が必要な書類はありますか。（ないと回答した学校の割合）	0%	7%
32. 1人1台端末のパスワードについて、教職員が把握し一括で管理するのではなく、児童生徒に管理を任せていますか。（児童生徒が管理していると回答した学校の割合）	29%	40%
34. 「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成 AI を校務で活用していますか。	6%	3%

## 2. 今後の計画

### ① F A X ・押印等の抜本の見直し

災害時や教育ネットワークの不具合時など、F A X が必要になる場合を除き、F A X の原則廃止に向けて、関係機関及び学校とやりとりのある事業者に対し、教育委員会から慣行の見直しの依頼をする等、継続的に働きかけていく。また、教育委員会内で押印を求めている業務や書類の有無と見直しの可否、見直しができない場合の理由についての現状把握を行い、機微な情報を取り扱う場合を除き、公印省略で取り扱うなど押印ルールの見直しを図っていく。

### ② ゼロトラストセキュリティに基づく教育ネットワークの構築および次世代型校務支援システムの整備

現在、本市で導入している教育ネットワークは、校務系・学習系ネットワークを分離した環境構成となっている。今後、教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考え方に基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じたうえで、校務系・学習系ネットワークの統合を目指す。

併せて、現行の校務支援システムはプライベートクラウドでの運用となっているが、セキュリティを十分担保した上で、ロケーションフリーなパブリッククラウド環境ベースの次世代校務支援システムへの移行を目指す。

### ③ ペーパーレスの推進

現在、本市の多くの学校で、校内の職員会議等において、クラウドサービスを活用した電子データの共有を行っている。また、保護者連絡アプリによる保護者向け連絡文書のデジタル化、一人一台端末のアプリでの児童生徒への各種連絡のデジタル化、職員間の情報共有のデジタル化や研修資料のアーカイブ化により、ペーパーレス化を進めている。今後も、保護者からの提出文書や日程調整等を、クラウドサービスで行うなど、ペーパーレス化を一層推進していく。